



2学期がはじまりました ～心も体もすくすくと～

2学期がはじまりました。2学期は子どもたちにとって、心も体も一段と成長できる学期です。子どもたちが活躍する行事（陸上記録会、音楽発表会、学習発表会、マラソン大会、サツマイモ・ぶどう収穫、ベルンドルフ国際交流会等）がたくさんあります。

子どもたちに始業式で話したことは3つあります。

1 学級や仲間との絆づくり

行事への取組を通して、仲間のいい点をたくさん見つけましょう。そして、自分のいいところをたくさん仲間から見つけてもらいましょう。

2 目標を意識した生活

目標を持っている人の目は輝いています。表情もひきしまってカッコいいです。思い通りにいかないときは我慢すると力がわいてきます。

3 本と友達になる

読書は心を落ち着かせてくれます。いろいろなことを考えることが得意になります。様々なことを想像することが楽しくなります。

子どもたちの努力を認め、挑戦をそっと後押ししていきたいです。

陸上練習に笑顔がはじける ～指導者を迎えて～



陸上指導講師（福田翔さん：いしわり桜 Athlete Club）にご協力いただき、全校児童が陸上競技を通じて体力向上に取り組みました。

低学年は、飛んだり跳ねたり、バランス運動を通して基礎体力作りを行いました。中・高学年は、それに加えて幅跳び、高跳び、ハードルなど競技種目に挑戦しました。福田さんからは各種目のポイントを指導され、子どもたちは笑顔で練習に取り組む姿が見られました。5、6年生は学んだことを生かし市内陸上記録会で活躍することを期待します。



第1回大迫小中合同学校保健委員会開催

今年度、小中合同で学校保健委員会を開催（8月27日18:00より）しました。

定期健康診断結果（発育測定、歯科検診、視力検診、眼科検診、耳鼻科健診、内科健診等）、学校環境検査結果の発表を小中それぞれから行いました。その結果をもとにしてグループで意見交流を行いました。

学校医（大橋一輝先生）、学校歯科医（西尾俊彦先生）お二人からお話をいただきました。大橋先生から以下のようなお話がありました。

1 夏休み明けの健康管理

長期休暇明けは、生活リズムの乱れや心身の不調がしやすい。朝食をしっかりと摂る。毎日同じ時間に寝起きすることが健康管理には欠かせない。

2 自己肯定感を高める

心の健康も身体健康と同じくらい重要。自己肯定感が高い子どもは、困難に対して前向きに取り組む力を持っている。子どもの努力や取組過程を認める声かけ、失敗を責めず挑戦したことを評価する、子ども自身に選択させる機会を増やすことが大事である。

3 最近のコロナ感染状況

全国的に新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、学校内では無症状の児童が感染源となるケースも考えられる。子どもが登校前にのどの痛みを訴えた場合、登校を控え病院受診することが望ましい。

西尾先生からは、成長発達に伴う口腔の変化について教えていただきました。小学校の時期は、乳歯から永久歯へと歯が生え変わる「混合歯列期」にあたる。そのため、磨き残しが増えてしまうため、小学校高学年になっても保護者による仕上げ磨きや定期的なチェックが大切である。

子供たちの健康管理を行う上で貴重なアドバイスをいただきました。

祖父母授業参観&大迫教振講演会（命の大切さを考える）

祖父母参観に合わせて大迫教振講演会を行いました。動物福祉団体「あにふぁ」（NPO法人）をお迎えし「いのちの授業～ワンちゃんもねこちゃんもおなじ命～」と題して子どもたちにお話しいただきました。

捨てねこを主人公とした紙芝居の朗読を通して、どうぶつの命を守るために私たちにできることは何かについて一緒に考えました。最後は、実際に子どもたちは保護犬と触れ合い、命の大切さを実感することができました。

講演会に引き続き、各教室へ移動し祖父母参観授業を行いました。ご家族の方の協力を得て、一緒に学習を行いました。6年生は家庭科でトートバック製作にチャレンジしました。自分で物を作る経験があまりないように感じました。マンツーマンで教えていただける環境がうらやましかったです。

